

第2回 平成25年伊豆大島土砂災害第三者調査委員会 議事概要

日時：平成27年11月21日（土）10時43分～14時40分

場所：大島町 北の山出張所 小会議室

出席者：田中委員長、黒田委員、鈴木委員、松尾委員
事務局（4名）

概要：

1. これまでの情報収集で得られた事項等について

事務局より資料1を説明した上で、質疑応答・討議を行った。主な内容は、以下のとおり。

- 事実認定は、委員が各種情報（本庁の全般情報、地方情報、府県情報など）の実物のデータを見て判断する形で行うべき。
- 当時の気象情報については、今回整理された情報のほかにも様々な情報（例：台風第26号に関する東京都気象情報 第5号）があり、入手経路もいろいろある。⇒それらについて、今後さらに精査し事実を確定する。
- 特に、下記の点については、今後さらに情報収集を行う。
 - ・0:52 気象庁発表「東京都気象情報第6号」と同等の300mm超降雨の発生頻度
 - ・過去7回の土砂災害警戒情報発表時、実際にどのような現象（洪水、崖崩れ等）が発生していたか
 - ・土石流被害発生時刻推測のための、東京電力（株）停電時刻のデータ
- 過去の台風接近時の大島町の対応体制については、時間軸を入れて整理する。また、以下の点をさらに調査する。
 - ・地域防災計画には体制の具体的な基準は記載されていないが、内規、申し送りなどの形で体制基準が定められていなかったかどうか。
 - ・平成20年以前において、どのような体制がとられていたか（例えば数多くの台風が上陸し被害をもたらした2004年のみ抽出でもよい）。
- 今後、重要な検討事項になるであろう点として、現段階で以下の3点が考えられることから、これらについては特に重点的に事実関係を精査する。
 - ①気象情報（他機関から町に伝達された情報等とその内容）
 - ②町の体制（体制設置基準、判断体制、過去の対応状況等）
 - ③避難勧告・指示（判断体制、判断基準、過去の対応状況等）
- なお、住民への聴き取りを通じて、住民が特に関心を寄せている事項についても把握する。

2. 大島町民アンケート調査結果（暫定速報版）について

事務局より資料 2 を説明した上で、質疑応答・討議を行った。主な内容は、以下のとおり。

- 現在も回収票が到着していることから、調査期間を延長し、より多くの回答を集計に含むこととする。
- 今後、最終集計に際しては、以下のような点に配慮する。
 - ・性別、年齢別、地区別などについては、実人口を把握してそれと比較できるようにする。
 - ・クロス集計の際には、回収数の少ない選択肢は複数を一括するなど、集計方法を工夫する。
- 最終集計結果については、とりまとめ次第、協力者への感謝の意を記して、委員会ホームページで公表する。

3. 大島町職員アンケートについて

事務局より資料 3 を説明した上で、質疑応答・討議を行った。主な内容は、以下のとおり。

- 職員向けアンケートについては、以下の 2 種類に分け、段階的に実施することとする。
 - ①事実関係に関する調査：災害発生前後の対応状況について、簡潔に事実情報を把握する。
 - ②教訓・課題、第三者調査委員会に対する意見・要望に関する調査：今後、事実情報を分析し再発防止対策を検討する段階で、町職員の意見・考え方等を把握する。

以上